

～東アジアの未来像の構築に向けて～

東アジアの再検討から構想する未来

アジア歴史・文化グループ

グループリーダー・宮坂貴彦
伊藤瑛史
清水宣寿
高橋由賀利
田中亮
宮崎真

はじめに: 主題からの課題設定とその意義

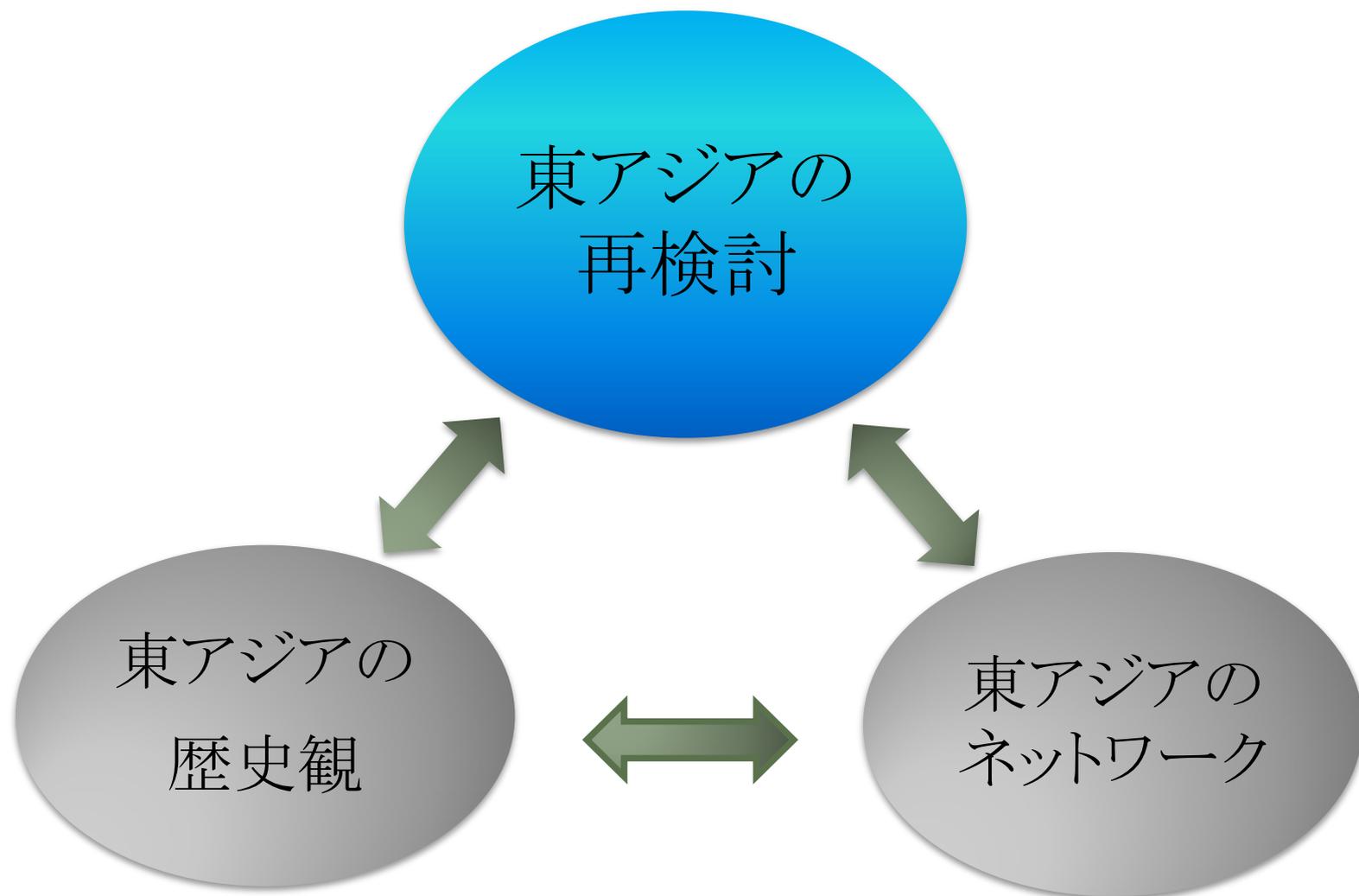
- 主題: 東アジアの未来像の構築に向けて～
東アジアの再検討から構想する未来

その中から、二つの関連した課題設定
(東アジアの歴史観と東アジアのネットワーク)

事由: 協力して作業していくための明確な指標の必要性
とグループメンバーに共有された問題意識

主題の意味: 二つの課題と東アジアの思想、文化歴史的背景との
関連した繋がりを追い、東アジアの未来像を構築する。

東アジアの未来像の構築に向けて



課題1・東アジアの歴史観

現代・未来に向けた歴史観の形成

東アジアの歴史観を研究し、その背後にある思想や価値観などを考察する。現代・未来の問題解決につながる歴史観の形成から東アジアのネットワークとの関係形成を目指す。

具体例

- ・日本による東アジアでの戦争
- ・南京事件、靖国神社問題
- ・米軍基地
- ・在日外国人問題

副題2: 東アジアのネットワーク 東アジアのネットワークの将来像の構想

国単位の交流、国境という概念を超えて広がる様々なネットワークを分析し、東アジアの将来像を構想する。

また、ネットワーク内での日本の立ち位置、期待される役割も考える。

具体例

- ・東アジア地域における越境汚染
- ・東アジア地域間での高度人材移動・交流
- ・日本発のサブカルチャーの東アジアへの普及
- ・「東アジア共同体」構想が目指すものとは

文献資料

- 「中国近代の思想と科学」 改訂増補 坂出祥伸 著
「アジアが日本に忠告する」 アリフィン ベイ 著
「アジア太平洋の時代」 アリフィン ベイ 著
「アジア太平洋と新しい地域主義の展開」 渡邊 昭夫著
「*Institution of Asia-Pacific*」 *Mark Besson* 著
「文化ナショナリズムの社会学」 吉野耕作著
「アジアの政治と民主主義」 猪口孝・カールソン編
「アジア環境白書」 東洋経済新報社
「ザ・レイプ・オブ・南京」 アイリス チャン著
「昭和天皇(上)(下)」 ハーバート・ビックス 著
その他

今後のスケジュールとフィールドワーク先

	インターゼミ	フィールドワーク	論文
6月12日	中間発表		
7月			
8月			
8月下旬	インターゼミ合宿 中間発表		
9月		(上海万博?)	論文作成開始
10月			
11月		APEC (横浜)	
12月			論文提出

その他のフィールドワーク候補先：
API、ABIC、アジア歴史資料センターなど